

# ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 409



国際宇宙ステーション (ISS) に近く宇宙ステーション補給機 (HTV) 技術実証機 (出典: JAXA/NASA)

## トピックス

### HTV の愛称が「こうのとり」に決定、2 号機は 1 月 20 日打上げの予定

JAXA は、国際宇宙ステーション (ISS) へ補給物資を運ぶ宇宙ステーション補給機 (HTV) に、より皆様に親しみを持っていただけるよう愛称を募集しました。その結果、応募総数 17,236 件のたくさんのご応募の中から、HTV の愛称は「こうのとり」(ローマ字表記は「KOUNOTORI」) に決定しました。

「こうのとり」は大切なもの (赤ん坊、幸せ) を運ぶ鳥としてのイメージがあり、ISS に重要な物資を運ぶ HTV のミッション内容を的確に表しているため、この愛称が選ばれました。

「こうのとり」ご提案者には、全員に認

定書と記念品が送付されます。また、「こうのとり」ご提案者への特典である種子島宇宙センターでの打上げ見学ご招待については、抽選の結果、6 名の方々が選ばれました。選ばれた方々には、名付け親の代表として、「こうのとり」の打上げを見守っていただきます。ホームページでは、選ばれた方々のメッセージを掲載していますので、ぜひご覧ください。

種子島宇宙センターでは、「こうのとり」2 号機の打上げに向けた準備が順調に進められています。

「こうのとり」2 号機は、打上げ形態に電氣的・機械的に結合された後、総合的な

機能確認 (全機点検) を行っています。全機点検を終えた後、「こうのとり」2 号機は推進剤の充填作業、衛星フェアリングへの格納作業など打上げに向けた最終準備段階を経て、H-IIB ロケットに搭載され、2011 年 1 月 20 日午後 3 時 29 分頃に種子島宇宙センターから打ち上げられる予定です。

#### Website info

HTV の愛称「こうのとり」と種子島宇宙センターへの招待者決定!

[http://iss.jaxa.jp/htv/htv\\_nickname\\_selection.html](http://iss.jaxa.jp/htv/htv_nickname_selection.html)

HTV2 号機の打上げ日時について

[http://iss.jaxa.jp/htv/htv2\\_scheduled\\_date.html](http://iss.jaxa.jp/htv/htv2_scheduled_date.html)

### 「きぼう」日本実験棟が 2010 年度グッドデザイン金賞を受賞しました!

11 月 10 日、2010 年度グッドデザイン賞 (主催: 財団法人日本産業デザイン振興会) の大賞を選出する式典が開催され、「きぼう」日本実験棟はグッドデザイン金賞を受賞しました。

「きぼう」にたくさんの応援メッセージ、大賞予想投票をお寄せいただき、ありが

とうございました。

#### Website info

「きぼう」日本実験棟がグッドデザイン金賞を受賞

[http://kibo.jaxa.jp/archive/2010/09/good\\_design\\_award\\_2010.html](http://kibo.jaxa.jp/archive/2010/09/good_design_award_2010.html)

2010 年度グッドデザイン賞の結果

<http://www.g-mark.org/archive/2010/award-best15.html>



グッドデザイン金賞の表彰式 (出典: JAXA)



## JAXA PCG 実験の 3 回目を終了、マランゴニ対流実験などを継続

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、流体実験ラックの蛋白質結晶生成装置 (PCRF) で行われていた 3 回目の「タンパク質結晶生成実験」(JAXA PCG) が 11 月 26 日に終了し、生成された結晶はソユーズ宇宙船 (23S) で地上に回収されました。今後、結晶の詳細な分析が行われ、新薬の開発などへの貢献が期待されます。

流体物理実験装置 (FPEF) では「マランゴニ対流におけるカオス・乱流とその遷移過程」実験の第 3 シリーズを継続的に実施しています。

「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

なお、スペースシャトル・ディスカバリー号 (STS-133 ミッション) の打上げが 12 月 18 日以降に延期されたことに伴い、「きぼう」での今後の実験計画について調整が行われています。

### Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)  
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

## STS-133 ミッションの準備状況

### ディスカバリー号の打上げは 12 月 18 日以降に延期

スペースシャトル・ディスカバリー号 (STS-133 ミッション) の打上げは、12 月 18 日以降に延期されました。

ディスカバリー号の外部燃料タンク (ET) の中間タンク (ET 内の液体酸素タンクと液体水素タンクを結合する構造物)

で発見されたクラック (亀裂) の修理作業として、クラックが生じた金属部の交換と断熱材の再施工が行われ、11 月 24 日に作業は終了しました。しかし、ディスカバリー号の飛行に向けた修理結果の解析と評価に時間を要するため、NASA は、

12 月 18 日午前 10 時 51 分以降の打上げを目標とすることを決定しました。

### Website info

国際宇宙ステーションの組立フライト ULF5 (STS-133)  
<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf5/>

## 今週の国際宇宙ステーション



最初の ISS 構成要素打上げから 4393 日経過

### 23S は 11 月 26 日にカザフスタン共和国へ無事着陸

2010 年 6 月から約 161 日間 ISS に滞在していたダグラス・ウィーロック、フョードル・ユールチキン、シャノン・ウォーカー宇宙飛行士を乗せたソユーズ宇宙船 (23S) は、11 月 26 日午前 10 時 23 分に ISS から分離し、同日午後 1 時 46 分にカザフスタン共和国に無事着陸しました。

第 26 次長期滞在クルーとなったケ

リー、カレリ、スクリポチカ宇宙飛行士は、新たなクルーが到着するまでの間、3 名で ISS を運用します。新たに第 26 次長期滞在クルーに加わるドミトリー・コンドラティオフ、キャスリン・コールマン、パオロ・ネスポリ宇宙飛行士を乗せたソユーズ宇宙船 (25S) は、12 月 16 日にカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基

地から打ち上げられる予定です。

### Expedition 26 Crew

ISS 滞在 52 日経過  
スコット・ケリー (NASA)  
アレクサンダー・カレリ (ロシア)  
オレグ・スクリポチカ (ロシア)

### Website info

国際宇宙ステーションへのクルー交代/ソユーズ宇宙船交換ミッション 23S  
<http://iss.jaxa.jp/iss/23s/>

more information

- ▶ 「きぼう」を利用した社会課題解決テーマのフィジビリティスタディ (実現性検討) 提案募集 (12 月 20 日 (月) まで)  
[http://kibo.jaxa.jp/experiment/field/applied/101115\\_fs\\_proposal.html](http://kibo.jaxa.jp/experiment/field/applied/101115_fs_proposal.html)  
「きぼう」の利用活動の一環として、私たちの社会や生活の向上に活用される成果を創出する活動のテーマ提案を募集します。
- ▶ 古川宇宙飛行士の宇宙滞在におけるリアルタイム交信イベントおよび映像収録企画の募集  
[http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa\\_exp/furukawa/news/com\\_event\\_application.html](http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/news/com_event_application.html)  
古川宇宙飛行士の ISS・「きぼう」における交信イベントおよび映像収録企画の企画提案を募集します。募集締切りは 2011 年 1 月 4 日 (火) です。

## ISS・きぼうウィークリーニュース 第 411 号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター  
ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)  
ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。